

事業名	福祉活動の充実【美術館運営課】				
概要	年齢や障害の有無にかかわらず美術と美術館を楽しめるよう、多様な事業と幅広いサービスを実施します。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	障害児者対象のワークショップや、障害のある方も楽しめるパフォーマンスイベント等	実施	⇒	⇒	⇒
	福祉に関連した国内外の先進事例を紹介する講演会等	実施	⇒	⇒	⇒
	対話鑑賞の実施や養護学校・特別支援学校・高齢者施設等の受け入れ	実施	⇒	⇒	⇒
	託児サービス	実施	⇒	⇒	⇒

事業名	子どもたちへの美術館教育の推進【美術館運営課】				
概要	子どもたちの創造性を高め、さまざまな人たちとの交流から美術の意味や価値を学ぶ機会を提供し、より多くの人に参加されるようSNS ^(注34) なども有効活用して広報します。また、学校教育に資する、充実した鑑賞体験の場を提供します。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	子ども・親子向けワークショップ等	実施	⇒	⇒	⇒
	子ども・親子・家族向けギャラリーツアー	実施	⇒	⇒	⇒
	保育園・幼稚園、小中学校の受け入れ	実施	⇒	⇒	⇒
	小学校美術鑑賞会（小学校6年生） （再掲）	開催	⇒	⇒	⇒
	美術館活用推進のための教員向けプログラムの実施と、学校における鑑賞活動の支援	実施	⇒	⇒	⇒
	児童生徒造形作品展（再掲）	開催	⇒	⇒	⇒

事業名	美術館ボランティア活動の推進と人材の育成・交流【美術館運営課】				
概要	市民との協働による美術館ボランティア活動を推進し、学習、成長の場を提供します。また、研修等の受け入れを通じ、人材の育成と交流を進めます。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	学芸員によるボランティア活動の支援	実施	⇒	⇒	⇒
	学芸員実習生、インターン、社会人の研修等の受け入れ	実施	⇒	⇒	⇒

事業名	美術品の収集、保存、活用【美術館運営課】				
概要	収集方針に基づき、積極的な収集活動を行い、所蔵作品の充実を図ります。また、所蔵作品のデータベース化を進め、広く情報発信を行うほか、所蔵作品の修復等を行い、市民の文化的財産を未来へ伝えます。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	美術品収集活動の推進	実施	⇒	⇒	⇒
	所蔵作品情報の発信	実施	⇒	⇒	⇒
	所蔵作品の修復等管理	実施	⇒	⇒	⇒

事業名	美術作品、普及事業の調査・研究【美術館運営課】				
概要	日本近現代美術史、地域の美術を中心とした調査・研究を行い、展示に生かします。また教育普及活動に関して最新事業を調査し、ノウハウを蓄積し、事業に反映させて、質の向上を図ります。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	美術作品、地域の美術の調査・研究および展示への反映	実施	⇒	⇒	⇒
	普及事業の調査・研究および事業への反映	実施	⇒	⇒	⇒
	専門性を向上させるための館外の研修等への参加	実施	⇒	⇒	⇒

事業名	図書資料の収集と公開【美術館運営課】				
概要	所蔵作品に関連する書籍・展覧会図録を中心に、美術全集や絵本等を含む美術関連の多様な図書資料を収集し公開します。また、約2万冊の図書からなる匠文庫（美術評論家・匠秀雄氏旧蔵資料）を良好な状態で保存し、公開します。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	図書資料の収集・保存	実施	⇒	⇒	⇒
	図書室内での図書資料の公開	実施	⇒	⇒	⇒

事業名	「市民に親しまれる美術館」を目指した活動の推進【美術館運営課】				
概要	地域の人々や他部局、異業種との連携を強め、「市民に親しまれ、利用される美術館」を目指した活動を行います。また、ホームページやSNS ^(注34) を活用し、市民や横須賀を訪れる人々に積極的な情報発信を行います。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	近隣地域などと連携した活動	実施	⇒	⇒	⇒
	インターネットを利用した情報発信	実施	⇒	⇒	⇒

事業名	美術館維持整備事業【美術館運営課】				
概要	周囲の豊かな自然とその風景に調和した美術館の維持整備を行います。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	中長期修繕計画に基づく維持整備事業	実施	⇒	⇒	⇒

目標6 社会教育施設相互の連携を図ります

本市の社会教育施設^(注9)である生涯学習センター、図書館、博物館、美術館には、それぞれ、生涯学習センターを所管する生涯学習課に社会教育主事^(注89)、各図書館には司書、博物館および美術館には学芸員という専門的職員を配置しています。

社会教育主事は、社会教育法に基づき、教育委員会に配置しなければならない専門的職員です。社会教育主事は、社会教育を行う者に対して、助言・指導を行うことが職務です。市民の学習の要求や地域において学習する必要性が高い課題の抽出、学習者の組織化支援、社会教育計画立案や計画に基づく事業の学習プログラムの企画運営などを行います。

司書は、図書館法に基づいて、図書館におかれる専門的職員です。司書は、図書館資料（図書等）の選択・発注・受け入れ、受け入れた図書館資料の分類・蔵書目録の作成、図書館資料の貸出・返却、図書館資料の保管、レファレンス^(注81)、読書案内、読書活動の推進のための各種事業の企画運営などを行います。なお、博物館には、美術館、文学館、水族館、動物園、植物園など、名称に博物館がつかない施設もあります。本市には、自然・人文博物館、美術館があります。

学芸員は、博物館法に基づいて、博物館法に定められた博物館におかれる専門的職員です。学芸員は、資料（実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真等）の収集、保管、展示および専門的な調査研究や研究報告書等の作成、市民への資料の説明・助言・指導、博物館資料に関する講習会・研究会・講演会等の開催などを行います。

自然・人文博物館の学芸員は、市民の教育、学術および文化の向上を図るため、地域に関わる歴史、民俗、自然科学等の分野を担っています。

美術館の学芸員は、美術を通じたさまざまな交流の機会の提供、市民の美術に対する理解と親しみを深めることによって、文化の向上を図るため、美術の分野を担っています。

本市では、これまでも社会教育施設がさまざまな事業を行ってきましたが、市民に必要な情報が十分に届いていないなどの情報発信力の弱さが課題でした。このようなことから、生涯学習課・生涯学習センター・図書館・博物館・美術館の事業やコミュニティセンター^(注71)の社会教育や生涯学習に関する情報を多様な広報媒体を活用して市民に幅広く提供し、市民に身近で利用しやすい施設を目指します。また、それぞれに専門的職員を置く社会教育施設の特徴を生かしながら、さまざまな事業連携の充実に取り組みます。

施策（15）社会教育施設^{（注9）}相互の事業連携-----

社会教育に携わる職員の資質向上を図るとともに、職員相互の交流の機会を設け、職員が各社会教育施設の目的や特徴について相互理解を深める機会を充実します。その上で、各社会教育施設の特徴を生かした事業連携に取り組んでいきます。

【関連事業】

事業名	社会教育職員の資質向上と職員相互の交流機会の充実 【生涯学習課】【中央図書館】【博物館運営課】【美術館運営課】ほか				
概要	社会教育事業を行う職員（生涯学習センター指定管理者およびコミュニティセンター ^{（注71）} 職員を含む）に対し、社会教育関係職員研修会を実施し、職員の資質向上を図るほか、各施設職員相互の交流を図り、施設相互の連携の基礎を作ります。また、文部科学省、神奈川県教育委員会などが実施する研修会に職員を派遣し、専門的資質の向上を図るとともに、外部の社会教育施設職員との交流も行い、事業の企画や情報収集提供に生かします。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	社会教育事業を実施する職員の専門性向上を図る研修	実施	⇒	⇒	⇒
	生涯学習センター、コミュニティセンター等の新規採用職員研修	実施	⇒	⇒	⇒
	社会教育主事 ^{（注89）} 、司書、学芸員などの専門的職員の専門性向上のための外部研修	参加	⇒	⇒	⇒
	職員相互で交流・情報交換できる研修プログラムの実施	実施	⇒	⇒	⇒

事業名	社会教育施設 ^(注9) が連携した事業等の実施 【生涯学習課】【中央図書館】【博物館運営課】【美術館運営課】ほか				
概要	生涯学習課、生涯学習センター、図書館、博物館、美術館などの本市の社会教育施設やコミュニティセンター ^(注71) のネットワークを強化し、事業連携を行います。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	生涯学習課、図書館、博物館、美術館の専門的職員を講師とした市民大学などの講座の実施	実施	⇒	⇒	⇒
	パネル展などの巡回展示	実施	⇒	⇒	⇒
	社会教育施設（生涯学習センター・図書館・博物館・美術館）での共通のイベントの実施	検討	⇒	実施	⇒
	連絡調整会議の実施	実施	⇒	⇒	⇒
	美術館で開催する展覧会のテーマに合わせた図書館ブックリストの発行	実施	⇒	⇒	⇒

施策（16）社会教育施設^{（注9）}相互に連携した情報発信・広報-----

各社会教育施設で行う事業や学芸員や司書などの専門的職員の活動など、社会教育や生涯学習に関するさまざまな情報を多様な広報媒体を活用し、相互に連携しながら発信していきます。

【関連事業】

事業名	社会教育施設などが連携した情報発信・広報の取り組み 【生涯学習課】【中央図書館】【博物館運営課】【美術館運営課】				
概要	生涯学習課、生涯学習センター、図書館、博物館、美術館など、本市の社会教育事業を行う部局と施設が連携して、市民への広報や情報発信に取り組みます。				
行動計画	項目	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
	生涯学習課および各社会教育施設が主催する事業のポスターやチラシを各施設で掲出	実施	⇒	⇒	⇒
	各施設のホームページに他の施設のURLを相互リンク	実施	⇒	⇒	⇒
	まなびかんニュースなどの生涯学習情報紙に、各施設の事業や学芸員など専門的職員のコラムなどの記事掲載	実施	⇒	⇒	⇒
	各施設が事業の実施中、または終了後におけるホームページ等での事業風景の画像等の発信。生涯学習センターなどでの各館の事業画像の展示	実施	⇒	⇒	⇒
	各施設で連携したソーシャルメディア等を活用した情報発信	実施	⇒	⇒	⇒

目標指標(社会教育編)

社会教育編の各目標の達成状況を測り、施策・事業を展開する上で参考とする指標について、掲載しています。

※各指標における目標値は、平成33年度(2021年度)末の数値となります。

指標名	生涯学習センター利用者数	関連目標	目標1:市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図ります
		関連施策	施策(3)学習の場の提供
概要	生涯学習センターのさまざまな学習室等、図書室、情報検索パソコンの利用人数から、市民が多様な生涯学習の活動を行っている状況を測ります。		
基準値	138,129人 (平成28年度)	目標値	140,000人 *平成26~28年度の最大値を超える数値

指標名	学習情報の提供件数	関連目標	目標1:市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図ります
		関連施策	施策(4)学習情報・学習相談の充実
概要	生涯学習センターで提供するYokosukaまなび情報(講師・サークル)、講座、施設などの学習情報の提供件数から、市民の学習活動に対する情報提供支援の状況を測ります。		
基準値	8,111件 (平成28年度)	目標値	8,500件 *平成26~28年度の上昇傾向

指標名	市民大学の講座の満足度	関連目標	目標1:市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図ります
		関連施策	施策(1)多様な学習の機会の提供
概要	市民大学受講者に、講座の満足度について、0点から100点の評価でアンケート調査を実施しています。アンケート回答全体のうち、80点以上の評価点を得た回答の割合を求めます。より良い講座をめざし、安定した質の高さを確保するために市民の満足度を測ります。		
基準値	78.0% (平成28年度)	目標値	80.0% *平成26~28年度の最大値を超える数値

指標名	家庭教育学級 ^(注86) 、家庭教育支援講座、家庭教育講演会等の講座数	関連目標	目標3:家庭や地域における教育力の向上を図ります。
		関連施策	施策(8)学校・家庭・地域の連携強化における家庭教育力の向上
概要	生涯学習課、生涯学習センター、コミュニティセンター ^(注71) 、横須賀市PTA協議会が実施する家庭教育に関連する事業の実施数から、家庭教育を支援する状況を測ります。		
基準値	62 講座 (平成 28 年度)	目標値	70 講座 *平成 26～28 年度の平均値を超える数値

指標名	レファレンス ^(注81) 件数	関連目標	目標5:図書館・博物館・美術館の活動を充実させます
		関連施策	施策(12)図書館活動の充実
概要	図書館4館でのレファレンス件数から、図書館サービスの状況を測ります。		
基準値	37,544 件 (平成 28 年度)	目標値	43,000 件 *平成 24～28 年度の上昇傾向

指標名	児童書貸出冊数	関連目標	目標5:図書館・博物館・美術館の活動を充実させます
		関連施策	施策(12)図書館活動の充実
概要	子ども読書活動推進事業の指標として、図書館4館、サテライト ^(注80) 館 10 館および取次所4カ所での児童書の貸出合計冊数から、子どもの読書活動の状況を測ります。		
基準値	459,616 冊 (平成 28 年度)	目標値	488,000 冊 *平成 24～28 年度の上昇傾向

指標名	博物館来館者数	関連目標	目標5:図書館・博物館・美術館の活動を充実させます
		関連施策	施策(13)博物館活動の充実
概要	博物館本館・付属施設の来館(来園)者数から、横須賀や三浦半島の自然や歴史への関心度を測ります。		
基準値	193,931 人 (平成 28 年度)	目標値	200,000 人 *平成 28 年度実績を超える数値

指標名	美術館展覧会観覧者数	関連目標	目標5:図書館・博物館・美術館の活動を充実させます
		関連施策	施策(14)美術館活動の充実
概要	美術館で開催する展覧会の観覧者数から、どれだけの人が優れた美術に触れる機会を持つことができたかを測ります。		
基準値	108,413 人 (平成 28 年度)	目標値	110,000 人 *開館以来の目標値 10 万人+1万人

指標名	美術館企画展満足度	関連目標	目標5:図書館・博物館・美術館の活動を充実させます
		関連施策	施策(14) 美術館活動の充実
概要	企画展の満足度について、観覧者にアンケート調査を実施しています。展覧会を企画・実施することは、美術館の基本的な活動のひとつであり、中でも企画展は、市民への波及効果が高く、最も力を注ぐべき事業となります。企画展に対する満足度は社会教育機能の高さを示す目安となることから、アンケート調査による観覧者の満足度を測ります。		
基準値	88.0% (平成 28 年度)	目標値	90.0% *過去実績を超える数値

指標名	各施設等の専門的職員を講師とした社会教育事業を実施する職員研修会等の開催数	関連目標	目標6:社会教育施設相互の連携を図ります
		関連施策	施策(15)社会教育施設 ^(注9) 相互の事業連携
概要	社会教育事業を行う職員の資質向上を図るための各施設等の専門職員を講師とする合同研修会等の開催数から、各施設職員が事業連携を行う上で必要な各施設の事業内容を把握する機会の提供度を測ります。		
基準値	1回 (平成 28 年度)	目標値	3回 *平成 26~28 年度の平均を超える数値